

# 平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市中鶯7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,703,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

## ●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,782	15,684	15,668	13,680	14,505
	移動児童館利用者数	874	874	955	766	825
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	17	19	17	18	14
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長及び常勤職員4人(体育指導員・児童厚生員1人、児童厚生員4人) ③「おたより」を毎月発行・配布・利用者パンフレットの作成、配布、児童センターホームページ、職員ブログの更新、ぶりあネットの活用
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具、遊具の毎月点検実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等節水節電を実施。古紙、ダンボール、ペットボトル、空き容器などを事業に活用しリユースに努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②修繕を要する事態が生じた場合は迅速に対応する。大規模な修繕については、指定管理者(本部)及び市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>平成29年7月 幼児クラブ参加者(保護者)117人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数82人(回収率70%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○児童センターを知ったきっかけ(上位) ホームページ・ネット 24人(34%)、知人・友人 18人(26%)、以前から 12人(17%)、近所だった 9人(13%) 他</p> <p>○幼児クラブを知ったきっかけ(上位) 知人・友人 19人(26%)、児童センター職員から 19人(26%)、ホームページ・ネット 16人(22%)、センター内の掲示物をみて 12人(16%)、以前から 6人(8%) 他</p> <p>○幼児クラブに参加して 大変満足 36人、満足 43人、普通 2人、やや不満 1人、不満 0人、未回答 0人</p> <p>○職員の対応について 大変満足 51人、満足 25人、普通 3人、やや不満 1人、不満 0人、未回答 2人</p> <p>○定員について ちょうど良い 75人、少ない 1人、多い 2人、未回答 4人</p> <p>○回数 ちょうど良い 70人、少ない 8人、多い 1人、未回答 3人</p> <p>○その他幼児クラブについての意見 いつもありがとうございます。2学期もよろしく願います。(多数) いつもたくさん声をかけて頂き、うれしいです。 幼児クラブ以外でもあそびに来たいです。 他</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・要望⇒回答 ◎おもちゃ図書館、幼児室などのおもちゃについて要望があれば、お聞かせ下さい。 ・1階のおもちゃをもう少し増やして欲しい。(乗り物の本・ジグソーパズルなど) ⇒1階の幼児室にも、まもなく新しいおもちゃが仲間入りする予定ですので楽しみに。 ・すべり台のもっと高さのあるもの。 ⇒ジャングルジムやすべり台などは、部屋の規模などの理由で、なかなか置けないのが現状です。申し訳ございませんが、2階ホールのパネルや、園庭の大きなすべり台などご利用頂ければ幸いです。 ・電池がないものがたまにある。 ⇒電池を使用するおもちゃは、毎日確認はしておりますが、万が一動かない場合は、お手数ですが職員までお声をかけていただくと、すぐに対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>◎センター内の設備についてご意見があれば、お聞かせ下さい。 ・おむつ替えのベットの丸見えなので、カーテンなどが欲しい。 ・1階にもおむつ交換の場所があるとうれしいです。 ⇒おむつ替えのベットは場所等の問題などありますが、検討中です。 ・おもちゃ図書館の利用についての表記の仕方がいろいろ。掲示やHP、職員の認識を統一したほうがよい。 ⇒おもちゃ図書館の利用についての表記ですが、HP等と館内の掲示で、すこし違うところがあり、ご迷惑をおかけいたしました。随時更新しておりますのでよろしくお願いいたします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□児童センターの玄関周りの掲示や、遊戯室前の掲示を楽しい雰囲気になるように、リニューアルした。 □毎月行っている行事の結果を引き続き掲示することにより、目標を持って行事に参加したり、掲示された写真を保護者の方に見に来てもらっていた子が増えた。 □既存のぬりえを見直し、利用者から希望が多かったキャラクターを揃えたので、好評を得た。 □ドミノやレゴの作品を写真に撮り、掲示することにより、あそびに広がりが出たり、友だちを誘い合い、チャレンジしている姿がよく見られ、たくさんの子があそびを楽しんでいたため、ホールのスペースが活かされた。 □児童の時から利用していた地域の若いボランティアの活動の場として、おばけやしきのスタッフをお願いした際に、おばけやしきに参加した小学生がボランティアの姿を見て、来年はスタッフとしてがんばってみようと感じを言っていた子が何人かあったので、ボランティア育成に繋がってよかった。 □要支援や見守りが必要な子どもに対して、小学校の生徒指導の先生と連絡を密にし、情報の共有を図った。 □上半期 総利用者数は15,782人となり、昨年度の上半期より増加した。 □夏休みの工作の行事を見直し、利用者ニーズにあった物を企画し、参加者も増え、好評を得た。 □昨年度から引き続き、ランチスペースを土日祝と長期休暇を除く平日の12:00～13:00に開設し、好評を得た。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>□毎月のおたよりは、引き続き担当エリアの小学校に配布した。 □利用者増の方策として、行事の見直しや幼児クラブの活動の見直しなどを行った。 □乳幼児と保護者対象の幼児クラブを引き続き1学期は8クラブ、2学期は9クラブ実施し、地域の子育て世代の子育て環境や子育ての不安軽減に努めた。 □レッツチャレンジでは、毎回目的を持って行事に参加したり、検定を目指して来館する子どもが増えた。 □ホームページのカレンダーをリニューアルし、利用者さんに使いやすくした。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□レッツチャレンジのような、継続して目標を持てる行事を引き続き行う。 □ボランティアと協力して、事業を展開し、地域ボランティアや母親クラブの方々と協力して、小中高校生のボランティア育成をする。 □新規事業として「おりがみチャレンジ」などを定期開催できるよう準備を進める。 □要支援児童や見守りが必要な児童に対しては、引き続き生徒指導の先生と連携を密にし、情報の共有に努める。 □不審者対策として、来館者には常に声をかけ、危機管理に努める。 □交通事故予防として、帰宅時等には車に注意するよう声をかけていく。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたよりは毎月担当小学校へ配布、幼児用パンフレットを親子ふれあい教室などで配布、またホームページのブログで行事を紹介するなどの広報活動を行った。 移動児童館について、上半期17回開催し、仕様書による目標数値の24回/年(平均2回/月)に向け順調に達成しており、下半期も引き続き行って頂きたい。 乳幼児と保護者対象の登録制の幼児クラブを8クラブ、2学期は9クラブに増やし実施するなど、子育て支援事業を充実させ、地域の子育て環境整備、子育て不安軽減に努めた。 毎月行っている行事について、検定をし、結果を掲示する「レッツチャレンジ」を行い、検定合格を目指すなど、子どものやる気を引き出す取組みを行った。 今期台風の接近が相次いだが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。 職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
---

●指定管理者評価委員会の意見

<p>移動児童館について、今期17回と多数開催されており、児童館の無い地域の利用促進に努めていることを評価したい。 他の児童館で行っている父親向けの子育て支援事業は、父親の育児参加を積極的に促す取組みとして非常に有意義であると考えられることから、今後積極的に他の児童館でも取り入れて頂きたい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---